

# 2021.12.12

## ニリンソウ自生地保護 活動情報

赤塚公園ニリンソウ  
を守る会

akatsukanironso@gmail.com  
赤塚公園サービスセンター  
03-3938-5715  
編集責任：運営サポーター／木村  
090-8646-9757



## 赤塚公園ニリンソウを守る会

12月最後の活動は12/19(日)

大門観察台集合 10:00

新年は1/16(日) 八丁目の林の手入れ

ため池公園梅林下集合 10:00

2月は2/20(日) 大門自生地ヤエムグ

ラの抜き取り 大門観察台 10:00

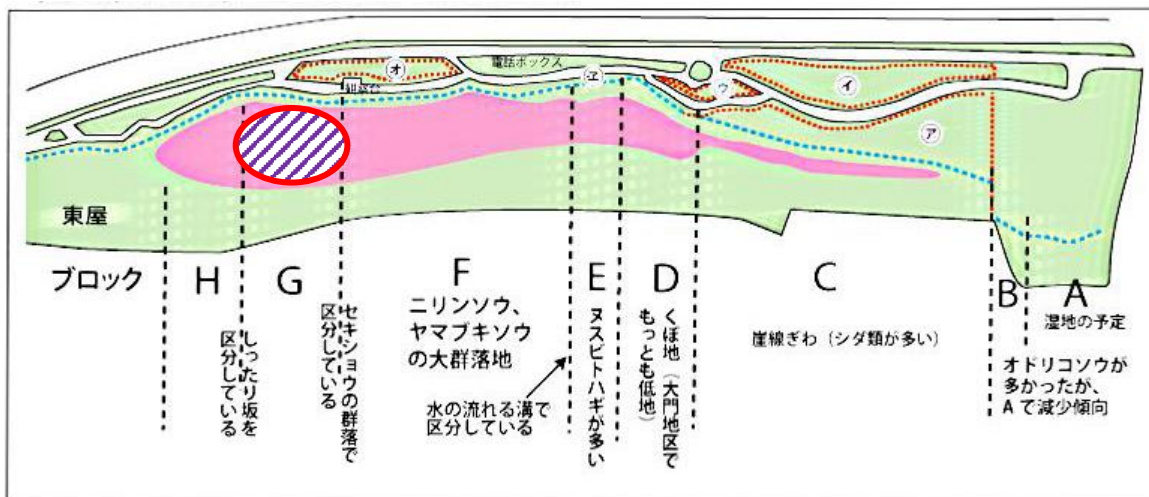
★手伝ってください！ 誰でも参加できます！

飛入り参加も歓迎！

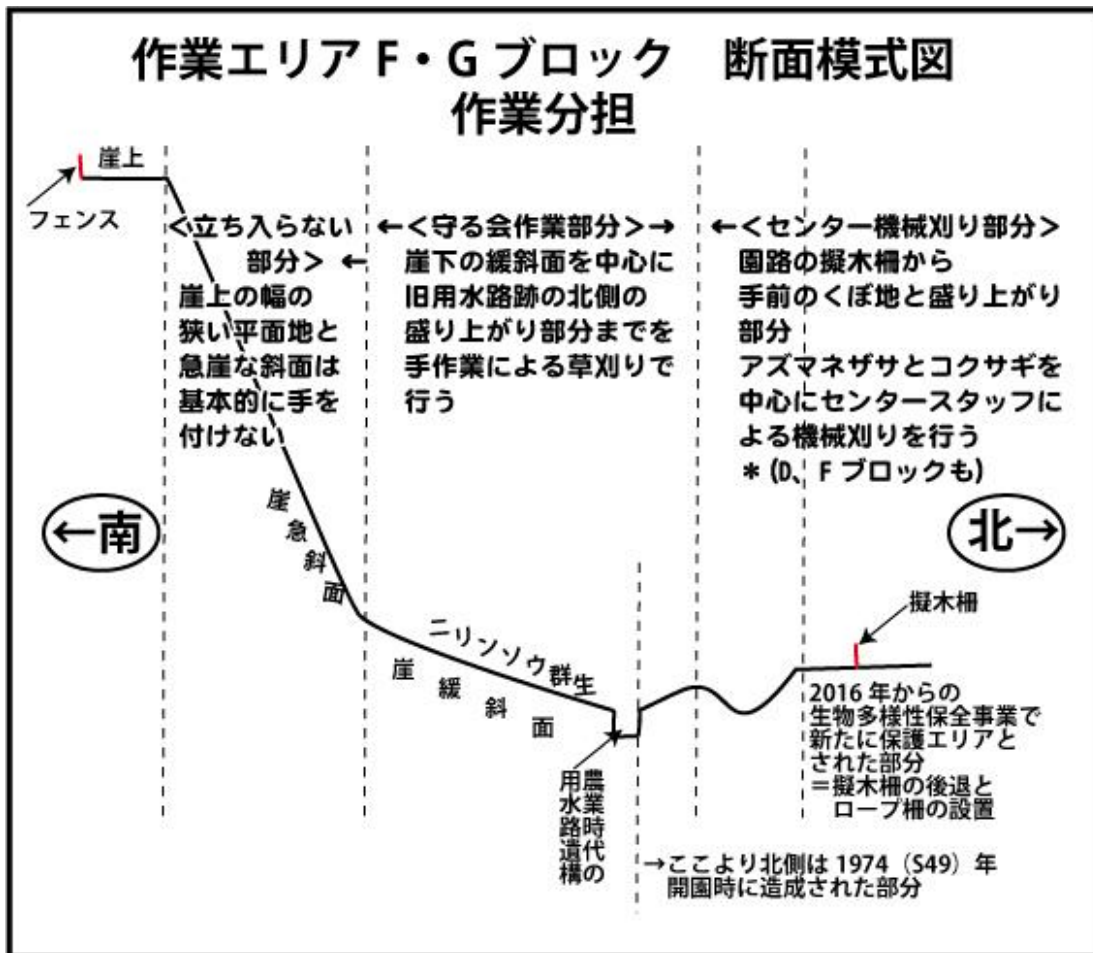
## 「人の力」の素晴らしさ！

## 20名の参加で草刈り作業予定通り進行

今年は、作業エリアが広がったこと、キチジョウソウの抜き取りに手間がかかったことなどで、昨年よりも1回、作業日を増やしましたが、いまのところ草刈り作業は予定通り進行中です。残すところあと12/19の1回、このまま好天が続けばいいのですが。



10/10から始めた今シーズンの手入れ活動はCブロックから始まって5回目の12/12でFブロックまで終了しました。残すは、Gブロックのみ。



今年は左の崖の断面模式図の右側部分＝園路からくぼみを一段下がってまた盛り上がっている部分は一面にコクサギが広がっていることから、赤塚公園サービスセンタースタッフによる機械刈りで作業を行うことにしました。その分だけは「手間が省けて」いるはずです。

それでも、手刈り作業は昨年よりも1回増やさないと間に合わないよ

うになってきているので、「作業の効率化」を図ることは必要になってきています。

刈り払い機を使つてのニリンソウ自生地の手入れは昨年から採り入れた新方法で、今年も新しい試みを展開中です。来年のニリンソウはじめ野草の展開状況を見極めながら、引き続き手入れ方法を工夫していくつもりです。

## 手刈りの良さ と 機械刈りの効率性 との バランス



ジャノヒゲの実です。きれいです。

こういうのに出会つると「これは刈り取つてもよいのかどうか」と迷つてしまいます。一応「春先に地表に日の光が射すのを妨げる植物は取り除く」と基準を設けてはいるのですが、そこは人情、ニリンソウを台無しにするほどでもなかったら残しても良いのではとも思います。最近では、作業者のみなさんの「ご自由に」任せています。誰かが刈つても誰かは残すので、生物多様性は保たれるはず。このように一草一木を選択的にコントロールできるのが手刈り作業の良いところ。

作業者が高齢化してきている昨今、手刈りが当たり前だった林の手入れ活動に機械を導入して効率化を図ると同時に、手刈りでなければできない丁寧さも残していこうと思います。